

◎英語

・単語とイディオム

覚えていないものに付箋を貼り、付箋を貼ったものに毎日目をとおす。見るときに頭の中で発音しながら発音とスペルが一致していることを必ず確認する。

・長文

1. その 1 文ごとに何が言いたいのかをまとめてそれを文ごとで繰り返し段落での話の流れを捉える。
段落で総合的に何が言いたいかを考える

➤ やっておきたい

1. まず問題を解く。
 2. 丸つけ、模範解答は映さず、あっているか間違っているかだけを確認する。
 3. 1 文ずつ何が言いたいのかを考える。段落でそれをまとめる。1 文ずつ数珠を繋いでいくようなイメージで次の文を読んだ時に必要ないと思えば消せば良い
 - ✓ まとめすぎないようにする。まとめる目的は全てを暗記して問題を解くことはできないので自分の中でわかりやすい言葉に置き換えるイメージ
 - ✓ 何かを説明した後にそれを総評するような言葉が出てきたとしてもその説明の方が重要である。評価の部分は説明の内容を覚えていればなんとなくわかるから。
 4. 間違った問題をもう一度解いてみる
- 結果的に 1.で考えるべきことが徐々に増えていき 3 ではほとんど考える必要がなくなるはず。

➤ 英文解釈

1. 接続詞や前置詞などで区切る。イディオムで覚えた前置詞に関しては切らない方が良い。
2. 主語や目的語が長い時は動詞との境目を区切り、一番大きな動詞がどれかを必ず確認する。
3. 区切った要素ごとに訳し、それらを隣同士で繋ぐを頭の中で繰り返し、1 文の意味を理解する。
この時訳とは全く別の可能性もある。
4. 総合して全体で何が言いたいのかを考える。

◎数学

思いついたのをすぐに書いたり計算したりするのではなく、その計算の結果何がもとまり、それが本当に必要なのかを考える。最終的にもとまる目測が立ってから計算し始める。グラフをとりあえず書くのはあり。

授業中は自分の考えを明確にし、それを必ず説明し違うなら否定してもらうようにする。

・基本レベル

チャートでどの時にどのような計算をすれば何がもとまるのかを理解し、暗記する。

こんな問題ならこの公式ではなく、どのような情報が与えられたらこの公式を使うというふうに覚える。

・模試の大問

チャートレベルの小さな解法を組み合わせで求めたいところが求められないかを考える。

➤ チャート

自分の解答プロセスと模範解答のプロセスの違いを明確にする。

自分の解答に無駄な計算や考えがないか考える。ある場合はなぜ自分がその計算が必要だと思ったかを考え、その上で必要ない理由を考える。それがわからない場合は誰かに聞く。

◎物理

- ・ 公式を図や状況とセットで覚える
- ・ 数学と同じで小さいレベルの公式を組み合わせてみる
- ・ 問題を読んでどのような手順なら最後の結果が出るかの筋道が立ってから計算し始める。

◎化学

- ・ 有機や無機は基本の用語の理解と暗記が最優先
- ・ 用語を覚えるときは用語だけでなく、用語を聞いたときになんなのかを説明できるまで覚えること。

◎丸つけについて

丸つけとは合っているものを見つけるのではなく、間違っているところを見つけるようにしましょう。間違いは必ずどこかにあるものと思って粗探しをするようにしましょう。

間違っているところを次にできるようにしないと点数は上がりません。

模範解答と少しでも違えば基本的には罰です。

自分の中で納得できていて説明できているからと言って丸をつけてはいけません。

少しでも違う場合はどこが違うのかを明確にした上で、それが問題ないか誰かに確認してから丸をつけるようにしよう。

適当な丸つけの積み重ねで基本的な考え方の常識が身についていないように感じる。

丸つけ中に模範解答を見て、読んで理解するのは中学生まで。なんでそのような解答になるのか、自分がどう考えたらその解答に至るのかを必ず考える。

◎計画重視で毎日同じ量だけ勉強すること

他に予定があり、結果できにできなかったとは仕方ないですが、予定以外の時間でなんとか終わるように頑張れなかったのか。他の日にその分頑張れば良いは遅れにつながります。実際、他の日にもっと時間が取れるならさらに $+\alpha$ のことができる可能性があるからです。ある量と頻度を伝えていると思うのでその量は基本的には守るように。それ以上に頑張ることは良いことです。基本的に基準以下になる日がないようにしましょう。